

生徒会会報



生徒会活動

十一月号
編集者 斎藤

河野

感染症が流行する中、リモートでの生徒会選挙が終わりました。学級閉鎖が相次いだことで、Youtubeで選挙の映像も公開されました。投票が後日となる異例の生徒会選挙となりましたが、公平に投票することができるよう、措置を行い実施されました。

市原市が主催するSDGsアワードという企画に生徒会副会長・岩田さんが審査員として参加しました。SDGsの達成に向けた取り組みをしている企業や、団体を四つの観点から審査し、表彰するものです。この活動を通して市原市は「SDGs未来都市」の選定を目指しています。

この活動は、市原市更級通りをシンボルロードとして位置付け、ウォーカブルな空間とするために行われている取り組みです。今回の文化祭は第三回の文化祭で、過去二回と比較しても多くの方が更級通りを歩いて頂きました。ワークショップを重ねながら、参加者に楽しんでいただけるように参加者全員で協力しました。

また、十一月九日に五井のまちなか文化祭にてウォーカブル（居心地が良くて歩きたくなるまちなか）の実証実験を五井駅前の更級通りにて行い、生徒会役員が参加しました。

副会長のみ決選投票を、その他の役職は信任投票を行いました。生徒会は三学期から本格始動です。生徒会報の編集者も交代となります。新しい生徒会報をお楽しみに！

そして、新生徒会への応援もよろしくお願いします！

岩田さんが参加した感想として、「この活動を通して、自分が未来のために何ができるか考えるきっかけになりました。また、普段関わることのない方々と仕事をする機会に、貴重な役割を務められて良かったです」と言っていました。「皆さんも地域や環境のために何ができるか考えてみましょう。」

SDGsアワードの様子

